

修学旅行の思い出

長谷川 豊

修学旅行に行つて、心身ともに大きく成長したような気がします。

一日目の広島では、平和学習をしました。現地で戦争の悲惨さを目の当たりにし、広島で亡くなった人々の悲痛や苦しみが今にも聞こえてくるような気がしました。平和記念公園は、哀れみを求めるような場所ではありません。平和を求めするために作られた建造物なのです。その中にはいろんな建造物や石碑がありました。特に印象的だったのは、亀の石碑と今もなお燃え続ける炎です。亀の石碑は、日本でなくなられた朝鮮のあなたがたの名前が深く刻み込まれていました。その亀の向いている方向は、朝鮮の方向だそうです。何でも、一時朝鮮が統一するという話が出たらしく、それを記念する亀の石碑もこの平和記念公園に移したそうです。しかし、統一す

るといふ話も虚しく、今だ停滯状態が続いています。とても残念に思いました。もう一つ話した炎は、アメリカなどの国がまだ核を所持しているのだそうです。燃え続ける炎もまたいつか消えるのでしょうか。核でしか自分の国を守れないなんて悲しすぎます。これらを見て、さらに被爆者の方の話を聞きました。とても印象に残った言葉は、やはり「自分の意志をしっかりと持つ」という言葉だと思えます。どんな状況であれ自分の意思を強く持つことは、とても共感を持ちました。戦争に打ち勝つには、戦争をNO!といえる勇気が必要だと思えます。

また僕たち二年生ももうすぐ三年生へと進級する時期です。進学就職と道は違えどもつよく意志さえ持つていければとほなと思えます。でも、どうしても自分が弱くなったとき、そのときは仲間同士で支えあいながら生きていけるとこの修学旅行を通して感じました。また友達の意外な優しい一面も見られてよかったです。



一年を振り返って

高橋 一司

今年初めてのことが多かったです。私は最初、水戸の高校に通学していました。が、この常北高校に入學することになりました。初めての転校だったので、友達がすぐになれるかと心配でしたが、中学のときの友達が多かったのですぐになれることができました。最後は、ツールド常北のことです。私は二年生になつてからの常北高校に来たので、ぜんぜんわからないことだらけでした。そして友達にツールド常北のことを聞いてびっくりしました。自転車で40キロも走るなんてできないと思いましたが、実際にやってみたら楽しくできました。今年はとても楽しく学校生活を送ることができました。

生徒会長挨拶

田口 恭平

今回生徒会長になって、いろいろ考えたことがありま

まず、常北高校は年々入学者数が減っているのが現状です。実際に入学してみれば楽しく、有意義な高校生活を送れる学校です。そこでもっと常北高校をアピールし中学生から注目される学校になるような活動を行う必要があると思います。生徒会長として自分ができることは何でもやっ学校を繁栄させていきたいと思えます。

まだまだ生徒会長になつたばかりなので不安なことがたくさんありますが、これからも一生懸命取り組み常北高校を支え発展させていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひします。



会長	田口 恭平
副会長	江幡 佳奈
書記	久保田 諭
書記	加倉井久美
書記	軍司 千春
書記	今川 英和
書記	小林 翔平